

私たちは、知らず知らずのうち  
に「思い込み」や「決めつけ」な  
ど、固定観念や誤った先入観、偏  
見を持っていることがあります。  
固定観念を生じさせる原因の一つ  
に迷信や風習があります。根拠の  
ない不合理な迷信や風習でも「昔  
から、そうしてきたから」「みん  
ながそうしているから」という理  
由で受け入れてしまいがちです。

先日、親戚の葬儀に参列し四十  
九日の法事の日程を相談していた  
時「四十九日は、三月（みつき）  
にかかるとよくない」という話に  
なりました。理由を尋ねると「し  
じゅうぐがみにつく（始終、苦が  
身につく）」という語呂合わせ的  
なこと、昔から言われていると  
のことでした。私たちの心には  
「知らなければ何ともないが、知  
ってしまうと何か落ち着かない」  
という心理が働き、避ける行動に出  
ることがあります。特に悪いことと  
なるとなおさらです。

私たちは、最初に知ったことを正  
しいと信じやすい傾向もあります。  
インターネット上の根拠のない情報  
であったり、言い伝えや迷信、人か  
らのうわさ話など、その情報や印象  
を信じ込んでしまうと自分が間違っ  
ているとは思えなくなり、偏った見  
方に陥ってしまいます。それが原因  
で差別をしたり、知らず知らずのう  
ちに人を傷つけたり、また意見が衝  
突することがあります。そのことで、  
部落差別の問題をはじめ、女性や子  
ども、高齢者、障がい者、性的少数  
者の問題など、さまざまな人権問題  
が起きています。

なかなか思い込みを直すことは難  
しいですが、まずは、自分の考えや  
感覚が「思い込み」や「決めつけ」

ではないか、一歩下がって客観的に捉え  
ることが大切です。言い伝えや迷信など、  
思い込んでいるものをもう一度考えてみ  
ませんか。

